

① 件 名	
スクールサポートスタッフ配置支援事業について	
② 施策等を必要とする背景及び目的（理由）	
<p>【背景】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る「学校の新しい生活様式」の実践に伴い増大した教員の負担を軽減するため、令和 2 年度から令和 4 年度まで教育支援体制整備事業費補助金等を活用しスクールサポートスタッフを配置してきた。 新型コロナウイルス感染症が収束の傾向となった令和 5 年度からは、教員の働き方改革を推進するための位置付けとなり、国及び県においても配置事業の拡大を進めてきたが、本市では補助金交付要件である教員の「客観的在校時間の把握」を満たしていないことからスクールサポートスタッフを配置できなかった。 このことから、教員の在校時間を把握するため市内全小中学校にタイムカードを導入し、令和 6 年度教育業務支援員（スクールサポートスタッフ）配置支援事業（多忙化解消）の仮申請を令和 6 年 2 月に宮城県教育庁へ行ったところ、同年 3 月配置支援事業実施にかかる内示を受けた。</p> <p>【目的】 配置希望のあった 4 2 校の小中学校にスクールサポートスタッフを配置し、円滑な学校運営を図るもの。</p>	
③ 根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性	
<p>【根拠法令】 教育支援体制整備事業費補助金（スクールサポートスタッフ配置支援事業）交付要綱 【〔総合計画との整合性 総合計画の位置付け：有・<input type="checkbox"/>無〕 又は 〔個別計画との整合性〕】</p>	
④ 提案に至るまでの経過（市民参加の有無とその内容を含む。）	
令和 6 年 2 月	令和 6 年度教育支援体制整備事業費補助金の活用希望を宮城県教育庁へ仮申請
3 月	令和 6 年度教員業務支援員（スクールサポートスタッフ）配置支援事業（多忙化解消）実施にかかる内示額通知
4 月	第 4 回教育委員会定例会 一般報告
5 月	令和 6 年度補正予算裁定
⑤ 主な内容	
スクールサポートスタッフ配置支援事業 配置希望校 4 2 校（小学校 3 0 校、中学校 1 2 校） 配置予定校 4 2 校（令和 6 年 4 月現在） 勤務時間 1 週間あたり 2 0 時間勤務（月曜日～金曜日） ※1 日 4 時間 休 日 等 土曜日、日曜日、祝日、1 2 月 2 9 日から 1 月 3 日まで （長期休業期間中は勤務） 賃 金 等 9 9 6 円（1 時間当たりの額） 業 務 内 容 学校からの配布物の印刷、事務作業の補助及び来客・電話対応等の学校が必要とする事務的作業	

⑥ 実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）

【影響・効果】

スクールサポートスタッフを各校へ配置することにより、教員の業務負担が軽減され、児童生徒との関わる時間が確保される。

【市財政への負担】

事業費 32,089千円

内訳：報酬 25,936千円

期末・勤勉手当 4,741千円

費用弁償 1,412千円

財源：教育支援体制整備事業費補助金：27,330千円

一般財源 4,759千円

⑦ 他の自治体の政策との比較検討

県内市町村の実施状況。

・令和5年度 12市町村

・令和6年度 19市町村（予定）

※石巻圏域では東松島市が令和5年度から実施。

⑧ 今後の予定及び施行予定年月日

令和6年6月 市議会第2回定例会に関係補正予算案について提案

7月 スクールサポートスタッフ募集

8月 スクールサポートスタッフ配置予定

⑨ その他